

# ブリヂストンが中関小で 環境ものづくり教室

## 実験やゲームで理解を深める



ゲームを通して、工場経営の理解を深めた

防府市浜方に工場があるブリヂストンは15日、環境問題や工場経営を知ってもらう授業を中関小（大坪勇一校長）で開いた。5年の111人が実験やゲームを通して、タイヤ製造の仕事や環境への取り組みについて学んだ。同社の環境啓発活動の一環。

東京本社の関谷紳吾さ

んがオンラインで授業。2種類のゴムボールを転がしタイヤに適したゴムを考える実験や、二酸化炭素の削減や省資源への取り組みを学んだ。

環境と産業について講義を受けた児童たちは、班に分かれて「工場長ゲーム」に挑戦。さまざまな形式のボードゲームで、経営について学びながら生産や投資によって得られるお金と、環境に配慮するとももらえるエコポイントを集める内容。児童たちはサイコロの出た目に一喜一憂しながら、工場経営の理解を深めた。

今西聡佑君（11）は「ゲームを通して社会性やお金の管理を考えられた。家族で遊んでみたい」と話した。（野原久幸）